

産後サポート事業の展望

2015 年

第 1 回産後サポーター養成講座開催

★あいちコミュニティ財団「住友理工あったか未来基金」
2015 年度助成対象事業

2016 年度

産後サポートモニタ事業 (3 件)

第 2 回産後サポーター養成講座開催
広報活動

★あいちコミュニティ財団「事業指定プログラム ミエルカ
2015」助成対象事業



2017 年度

「安心して子育てできるまちづくり」
を目指して

産後サポート事業開始



Contact Us

ファミリーステーション Rin は愛知県日進市を拠点として活動する NPO 法人です。
「男女に関わらず一人ひとりの個性が尊重されこどもたちも親たちも自立していきいきと生活できるまちづくり」を目指して活動しています。

Rin のうち (事務局)

親子が集う子育て広場「つどいのひろば」や親子サークル「Ma-Rin CLUB」、相談事業や子育てママのためのリフレッシュイベントを開催しています。おばあちゃんのおうちのような古民家でゆっくりしてってくださいね。



にっしん子育て総合支援センター にっしんファミリー・サポート・センター

2007 年度より日進市の指定管理者として、管理・運営中です。
にっしん子育て総合支援センターは、就学前の親子が自由に利用できる施設です。

保育士が常駐していて、子育て相談にも応じています。ファミリー・サポート・センターは子育てのお手伝いをしたい人 (援助会員) としてほしい人 (依頼会員) がお互い助け合う組織です。



NPO 法人ファミリーステーション Rin

〒470-0104

愛知県日進市岩藤町陸見 63 番地

TEL・FAX 0561-74-1080

E-mail rin@npo-rin.sakura.ne.jp

<http://www.npo-rin.sakura.ne.jp/>



にっしん産後サポート事業
立ち上げに向けて

事業概要

産後間もない大変な時期に、
近くに誰も頼る人のいない
ママが増えています。

近年、核家族化の進行や地域のつながりの希薄化などによって孤立した子育てをする家庭が増えています。このような家庭では、出産直後の心身が不安定な時期から家事や育児を母親が一人でこなしていることが多く、無理を重ね、疲れ果ててしまうことが心配されます。



日進市は6歳未満の子どもを持つ家庭の9割が核家族です。2015年に当団体が市内の子育て世帯に行ったアンケートでは、「自分の代わりに育児をしてくれる人がいない」と答えた方が14%いました。市には多くの子育て相談が寄せられていますが、産後の母親の心身のケアまで含めた公的な事業やサービスは少なく、母親の不安や負担を解消する受け皿がない現状が続いています。

ママの家事や育児の負担を減らす 「にっしん産後サポート事業」

心身が不安定で静養の必要な時期にもかかわらず、一人で家事育児を担っている産後の母親への支援として、訪問型で家事育児支援を行う「にっしん産後サポート事業」を立ち上げます。

この事業は、子育て家庭の負担軽減を図るだけでなく、豊かな親子関係を育む支援や地域情報の紹介を通じ、地域で暮らすお手伝いもします。

事業の目的

1. 子育て家庭の「助けて」に応える

訪問型の家事育児支援事業を実施することでお母さんたちの負担を軽減します。

2. 豊かな親子関係を育むことの手助けをする

子育て家庭が抱く家事や育児への負担感が軽減され、気持ちにゆとりをもって子どもに接することで、子どもの愛着形成につながります。

3. 子育て家庭と地域との橋渡しをする

産後サポーターが家庭を訪問することで、地域の情報も一緒に届けます。子育て家庭は地域の情報を知ることができ、産後サポート終了後、自ら地域の人と関わりを持つことにつながります。

親が安心して子育てできるまち。
それは、子どもの健康な笑顔につながります。

産後サポートの担い手 『産後サポーター（仮称）』

産後サポートの担い手として実際に支援をするのは、「産後サポーター（仮称）」です。産後サポーターは地域で暮らす子育て経験者の女性で、ファミリーステーション Rin が設定した、13 単元 20 時間プログラムを修了し、さまざまな形で子育て支援者としての経験を積んでいます。

妊娠・出産後から、サポートを終了しても「世話好きなおばちゃん」的立ち位置でお母さんとお子さんをずっと応援していきます。

養成講座プログラムの紹介

1. 産後サポート事業について
2. 家庭訪問の心構え、ニーズの把握
3. 実習 1 沐浴方法
4. 実習 2 産褥期の育児（授乳・排泄・睡眠・環境）
5. 実習 3 ニーズの対応と調整
6. ワークショップ 地域の子育て・利用者と地域を繋ぐ
7. 産褥期の母親の身体と育児
8. 産褥期から子育て期へ 子どもの発達を理解
9. 日進市の子育て支援
10. 子育て支援のしくみ 種類と役割
11. 子育てをめぐる状況・子育て支援の必要性
フィンランドの子育て支援から
12. 産褥期から子育て期へ 親子関係の形成
13. ワークショップ 支援者の役割と心構え



※講師には助産師、医師、大学教授、保健師、社会福祉士他子どもと子育て支援の分野で専門的に活躍している方にお願いしています。